

1 単元名 現代社会の見方や考え方

2 教科の「やりくり」

身近な社会問題におけるルールづくりを通して、最適なきまりを提案する。

3 授業構成

(1) 教師と教材

本単元は、学習指導要領「公民的分野 2 内容(1) 私たちと現代社会」の「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」。この単元では、「社会生活における物事の決定の仕方、契約を通じた個人と社会との関係、きまりの役割を多面的・多角的に考察し、表現できるようにすることを通して、現代社会を捉え、考察、構想する際に働かせる概念的な枠組みの基礎として、対立と合意、効率と公正などがあること、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解できるようにする」と記載されている。

本単元の学習では、きまりの意義やきまりを見直す時の観点を理解したうえで、身近にある題材をもとに、自分なりの考えを表現し提案させる。扱う題材は、①トランスジェンダーの女性が、重量挙げの代表としてオリンピックの出場枠を獲得した新聞記事と②新型コロナウイルスのワクチン接種において、キャンセルされたワクチンの使用方法についての記事の2つである。

どちらの題材も、多くの視点での提案が可能であり、議論し合意形成を図るのに適した題材だと考える。新しいきまりを提案する際には、「効率と公正」の観点から妥当性を検討する必要がある。なお、「効率と公正」の定義については、「「効率」については、社会全体で「無駄を省く」という考え方である。これを別の表現で説明すると「より少ない資源を使って社会全体でより大きな成果を得る」という考え方であるといえる。すなわち、「合意」された内容は社会全体でより大きな成果を得るものになっているかを検討することを意味しているのである。一方、「公正」については「みんなが参加して決めているか、だれか参加できていない人はいないか」というような手続きの公正さや「不当に不利益を被っている人をなくす」、「みんなが同じになるようにする」といった機会の公正さや結果の公正さなど、「公正」には様々な意味合いがある」と前述の学習指導要領で以下のように述べられている。

(2) 子どもと教師

2021年4月に実施したアンケートから、本学年の生徒は、社会的な事象に関心が高く、合意形成の基礎となる話し合い活動を意欲的に行うことができていることがわかる。しかし、自分の意見を伝えること、聞いてもらうことについては肯定的評価が低く、達成感を感じていない傾向がある。

そのため、本年度は社会科の学習の中に話し合い活動の時間を頻繁に設け、伝えること・聞くことの抵抗感を減らそうと試みている。その際、お互いの発表に対して必ず1つは質問をすることを意識づけ、能動的に人の意見を聞く取り組みを行っている。また、歴史的事象を身近に感じて学習できるように、単元を通して感じた疑問を調べる時間を設けた。

4月に実施したアンケートと、公民的分野の学習を行う前の7月に実施したアンケートの結果を比較した。この3か月間の学習の中で、社会科の知識を自分にとって必要なものと認識している生徒が増えている。そして「自分の意見をしっかりきいてもらえている」との設問でも肯定的な回答が15.5%上昇していることから、伝えることへの抵抗感が減っているのではないかと考えられる。



(3) 子どもと教材

普段、より早く、より正確に答えにたどり着くことを求められている生徒たちにとって、現代の社会問題に自分なりの答えを提案することはとても難しい。なぜなら、普段は意識しない、他者の視点で自分の考えを見つめなければならないからである。

自分の提案した内容は、客観的にみて「効率」的であり、かつ「公正」であるのか、お互いが提案した意見のどれがより社会的合意の得られるものなのかを検討しなければならず、より深い思考と表現が求められる。

4 単元目標

- ・社会問題について自分の考えを表現し、合意形成を図ることができる（思考・判断・表現）

・対立を解消して合意形成を図るためには、効率と公正の観点から考えることが必要であると理解できる（知識・技能）

・社会問題に対して、効率と公正の観点を使って自分なりの考えを持ち提案することができる（主体的に学ぶ態度）

5 学習計画

現代社会の見方や考え方（全4時間）

1 社会集団においてきまりをつくる目的と方法

2 オリンピックの事例から、公正なきまりづくりを考える

3 ワクチン接種の優先順位の事例から、最適なきまりを提案する（本時1）

4 提案されたきまりから班で合意形成を図り、他の班の提案を評価する（本時2）

6 本時の学習

（1）本時目標

①自分の意見について根拠をもって説明することができる。（思考・判断・表現）

②合意形成を図ることを通して、社会問題を様々な角度から検討し、自分なりの考えをもつことができる。（主体的に学ぶ態度）

（2）本時のやりくり

新聞記事や資料をもとにさまざまな角度から社会問題をとらえ、より最適なルールについて合意形成を図る。

(3) 本時の展開

学習活動	◎主な発問・予想される生徒の反応	・留意点○評価【観点】※手だて
1. 問題を把握する。	○新聞記事と参考資料から問題点を確認する。	・議論する点を確認する ・ワクチンは解凍後 6 時間以内に使用しなければいけないことをおさえる。 ・余ったワクチンをその場の判断で使用したことが記事になっていることをおさえる。
2. ルール改正案を考える。	◎どのようなルールが追加されれば、効率・公正の観点から納得のいくルールになるだろう。 ・接種会場にいるスタッフが接種する。 ・キャンセル待ちの予約をとる。 ・保育園や幼稚園に連絡して保育士さんが接種する。	○効率、公正の観点を使ってルールを作り、その妥当性を説明することができる。【思考・判断・表現】 (ワークシート) ※「効率」の観点で最適な提案と「公正」の観点で最適な提案を確認させ、両立できる提案はないかを考えさせる。 ・トゥルーミン図法を利用して個人の考えを強化する。
3. アイディアを班で発表する。	○理由をつけて説明しよう。	・個人で考え、班で共有し検討する。 ・お互いの考えを効率、公正の観点で評価する。 ・それぞれの提案に必ず質問する。
4. ふりかえりをする。	○ルールを改定するとき注意することは何だろう。	・活動を通して生まれた新たな疑問も書き留める。

学習活動	◎主な発問	・留意点○評価【観点】※手だて
1. 前時の確認をする。	○ワークシートで班のメンバーの意見を確認しよう。	・議論する点を確認する
2. 班の中で合意形成を図る。	◎班の中で一番最適な提案を選び、発表資料を作成しよう。	○合意形成を図ることを通して、社会問題を様々な角度から検討し、自分なりの考えをもつことができる。 【主体的に学ぶ態度】 (ワークシート・観察) ※「効率」の観点で最適な提案と「公正」の観点で最適な提案を確認させ、両立できる提案はないかを考えさせる。
3. アイディアを他の班に発表する。	○理由をつけて説明しよう。	・前時の内容を活かして発表準備をする。 ・発表者の提案を効率、公正の観点で評価する。 ・提案に必ず質問する。
4. ふりかえりをする。	○合意形成・提案の評価を通して気づいたことは何だろう。	・活動を通して生まれた新たな疑問も書き留める。